

～～第8456回～～

甲武信ヶ岳

～H30. 6. 8-9～

1日目：前日の天気予報によると大きな雲が台風に変わり、「梅雨前線を刺激し東海・関東地方に大雨」というニュースが流れていた中、毛木平に向け10名で安倍川駅を出発。東名からR52を走る途中で曇っていることを気かけながら、遠くに見える山々に懸る雲が煩わしく思えてくる。車が進むにつれて日が差し始め、晴れてきた。途中で休憩をとりながら、中央高速長坂ICから一般道R28を佐久・小諸方面へと向かう。毛木平駐車場には8:00到着。平日の為、駐車している車は少ないのではと思っていたところ、先着陣がすでに数台駐車していた。準備体操を入念に行い、8:15出発。林道に入り、暫く歩くと左に十文字峠への道。我々は右に進む。いよいよ千曲川源流遊歩道に変わり、緑鮮やかな樹林帯に入る。源流の流れを眺めながら進む。足元は歩き易く、ほぼ平坦地と思える程の林道を徐々に徐々に高度を重ねていく。川の流れの音、鮮やかな緑色の木々が登山者の疲れを癒してくれているように思える。途中で休憩をとりながら進み、慰霊碑に辿り着く。この辺りは平坦かつ広々としている。青々とした苔がとても美しく幻想的である。白樺の樹林帯を通り過ぎ、今回の目的の一つである滑滝に到着。写真で見たとおり、川床の巨大な一枚岩を滑り落ちるように流れる滝は想像以上に水量が多く圧巻である。この美しく流れる滝を見ながら昼食を摂る。差し込む日差しはさほど強くなく、マイナスイオンをたっぷり浴びながら、元気になったような錯覚を覚える。昼食後は千曲川水源地標に向けて、水が少なくなってきた沢を右岸、左岸と渡り返して暫く歩く。これまでの歩き易さから一変、登りがきつくなり、食後の急登はなかなか堪える。やっとの思いで水源地標に到着し、この標柱に挨拶を。そして伏流水が湧いている水源地を見ると、ほんのチョロチョロ。このか細い水が大河となっていく自然の力には、驚きと生命の源となっている有難さを感じる。ここから甲武信ヶ岳まではさらに登る。途中数ヶ所、岩陰にイワカガミが隠れるように咲いている。そして1日目の目的地である甲武信ヶ岳に到着。山頂には立派なベンチがあり、展望は抜群である。甲武信小屋まで約20分弱下り、ようやく辿り着いた。今晚の宿泊人数はどうやら70名との事。明日は週末なので更に増えて110名位とか。天気が良ければ更に多かったようである。

2日目：昨夜は大雨・強風で目が覚め、今日の天気が気になったが、朝4:00の起床時には心配する事なく風雨はすっかり治まった。5:00前の早い朝食を摂り、準備を済ませて軽いストレッチを行う。2日目の楽しみであるシャクナゲの群生地をめざし、十文字峠に向けて5:30出発。予定を変更して甲武信ヶ岳には登らず、山小屋横から巻き道を登って尾根に出る。ここから三宝山をめざす。途中、後方には普段目にはしている富士山ではなく、違った容姿の富士山を目にすることができた。埼玉県最高峰である三宝山に6:18到着。一等三角点があり、山頂の標識には地元、秩父市の高校生によって建てられた事が記されている。三宝山を下り、苔むしたシラビソの森を歩くと尻岩に到着。名前のとおりにお尻の形をした巨大な岩で、岩の上には木々が生えている。自然の力強さを感じ、見応えのある光景である。ここで休憩をとり、ゆっくり楽しむことができた。尻岩を後にし、足場の悪い岩場の急登を少々恐怖を感じながら登る。所々に淡いピンク色のシャクナゲを見つけてはホット一息ついて安心する。さらに上り下りを繰り返す。

返すと、前方に見えてきたのが数段のハシゴと鎖で、登った先には大パノラマの展望台。青空の下、眺めが良く気分最高といったところですが、この先ちょっと登ったところが大山の頂上でした。眺めは展望台ほどではないが武信白岩山が見えた。感動するのも一瞬、この先は岩場の下りで、段差がきつく鎖を頼りに狭い足場を見つけて下る。手に汗を握りながら緊張の連続。おまけに登りの若者3人とのすれ違い。危険箇所でのすれ違いには恐怖を感じる。全員無事にこの鎖場を下り、待っていたのはシャクナゲの花の美しさ。緊張した後のホットした癒しの時間である。ここから十文字小屋に向けて歩き易い樹林帯を過ぎて、目にした看板には「きのこうどん」と書かれていた。少々食べたい気分が駆られる。ようやく十文字小屋に辿り着き、昼食を摂る。この辺りはシャクナゲの群生地だが、残念ながら終わったようで、一方マイヅルソウが沢山咲いている。十文字小屋からは急坂を下り、カエデ等の色鮮やかな緑の中を通り、狭霧橋を渡ってようやく毛木平駐車場へ到着。帰り支度をして駐車場から出た瞬間、目の前の山肌にはベニバナイチャクソウの花が辺り一面に美しく咲いているのを見つけ、道路脇に車を止めてお花見。他にはツマトリソウもちらほら。レンゲツツジも見事に咲いている。疲れているところ、最後にもう一度美しい花を目にすることができ、とても良い山行でした。(追記：山小屋での食事に贅沢は求めないが、甲武信小屋の食事には少しランクアップを望みたい。)

参加者：10名（静岡西8、静岡北1、藤枝1）

天候：曇りのち晴れ

地図：居倉・金峰山

コースタイム：安倍川駅前 500＝毛木平 800-15…滑滝 1015-45…水源地標 1205…甲武信ヶ岳 1330-45…甲武信小屋(泊)1400-530…三宝山 620…尻岩 710…大山 905…十文字峠 1000-30…毛木平 1155＝安倍川駅前

記録：静岡西支部 渡辺桂子

ベニバナイチャクソウの群落



千曲川源流滑滝

